

佐久市川村吾蔵記念館協議会 次第

日時 令和元年6月12日(水)

午後1時30分

場所 川村吾蔵記念館多目的室

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 協議事項

(1) 平成30年度事業報告について

(2) 令和元年度事業計画(案)について

(3) その他

5 閉会

平成30年度 川村吾蔵記念館事業報告

1 協議会の開催について

(1) 第1回

ア 開催日 平成30年5月25日(金)

イ 内容 協議会の構成

平成29年度事業報告、平成30年度事業計画 他

2 主要な事業について

(1) 川村吾蔵作品及び資料等の公開

平成30年度の入館状況は別紙のとおり、なお平成30年6月29日(金)に展示替えを行った。

(2) 創造的活動の機会の創出(ワークショップおよび教育普及活動)

ア さくぶん連携企画

(ア) 「布で雛人形をつくろう」

花あそび流つるし雛教室講師の持田好子先生とそのスタッフによるつるし雛作り教室を開催。作品は記念館で展示した後、近代美術館でも展示。(対象は、小学3年生以上親子10組、内職員1組)

2月3日(日) 午後1時～4時30分 10組(24名)参加
(展示期間) 2月4日～8日 105名観覧(常設展4名)

講座の作品以外に先生方作成の大型つるし雛を併せて展示した。

注) 記念館での期間及び人数。近代美術館9日から15日展示

イ その他の企画

(ア) 「スタンドグラスでステキな作品をつくりましょう」

佐久平総合技術高校創造実践科の中野稔先生の指導により、スタンドグラスでフォトフレームを作成。(対象は、高校生以上、15名)

7月7日(土) 午後1時～4時30分 17名参加

(展示期間) 7月8日～16日 36名観覧(常設展64名)

(イ) 「ハーバリウム作り」

フラワーアレンジメント講師の有賀敬子先生の指導により、ドライフラワーを使ったハーバリウムを作成(対象は小学生以上、19名)

8月26日(日) 午後1時30分～3時30分 23名参加

(常設展33名)

(イ)「ナチュラルハーブでアロマ石けん作り」

アロマセラピスト泉美紀先生の指導により、天然のハーブを使って
手作りのアロマ石けん作り（対象は、小学生以上、20名）

10月14日（日） 午後1時30分～3時30分 24名参加
（常設展25名）

(イ)「牛の玩具に色を付けよう」

版画家の田嶋健先生の指導により、あらかじめ紙粘土で成形された
ミニチュアの牛の玩具に自分の好きな色を付ける教室を開催。

（対象は、小学3年生以上14名）

10月18日（日） 午後1時～3時30 17名参加
〈展示期間〉10月19日～26日 75名観覧（常設展77名）

(3) 創造的活動に対する支援

ア 「第7回未来の巨匠展 園児作品展」

白田地区の7幼保の園児と保護者がお互いに描き合った似顔絵を2回
に分けて展示

(ア) 第1回（白田・切原・佳里保育園、佐久南幼稚園）

〈展示期間〉11月28日～12月6日137名観覧（常設展9名）

(イ) 第2回（田口・青沼・里曲保育園）

〈展示期間〉12月7日～15日 216名観覧（常設展20名）

イ ふるさとデザイン展・卒業展

共催事業として、佐久平総合技術高校創造実践科の生徒作品を展示

〈展示期間〉2月16日～2月27日 212名観覧（常設展75名）

(4) 企画展「郷土の作家展」の開催

ア 三石忠勇さん作品展（吾蔵生誕記念の日）

入沢在住で蒼騎会の元会員。子ども時代に満蒙開拓を経験、その記憶
を基に描いた悲慘な逃避行の絵画を展示

〈展示期間〉8月4日～19日 435名観覧（常設展234名）

イ 大工原昌子絵画展（佐久市民の日、開館記念の日関連事業、）

中小田切在住でボタニカルアートを描いている。日ごろは公民館活動
などで水彩画、鉛筆画の講師をしている。水彩画、鉛筆画、アクリル
画を展示

〈展示期間〉3月9日～24日 694名観覧（常設展335名）

(5) 記念日関係事業（各記念日に常設展を無料開放）

- ア 生誕記念無料開放 8月18日～19日
「郷土の作家展」に併せて実施 149名観覧
- イ 佐久市民の日記念無料開放 3月9日～10日
「郷土の作家展」に併せて実施 214名観覧
- ウ 開館記念無料開放 3月24日
「郷土の作家展」に併せて実施 90名観覧

3 記念館に対する側面からの支援

(1) 川村吾蔵記念館友の会

「川村吾蔵の顕彰を第一の目的とし、会員の教養・親睦を深めると共に、記念館の活動に協力すること」を目的として、平成25年4月に設立された。平成30年度末現在での会員数は73名。

活動としては、記念館開催行事への協力、11月には、夏行なった企画展の三石忠勇さんの作品が展示されている阿智村の「満蒙開拓平和記念館」の視察研修をおこない、26名の参加があった。

企画展へのお誘い、また、友の会会報を発行した。

4 その他

企画展の開催、ワークショップ参加者募集について、サクラライフへの登載や関係施設へのポスター・チラシの送付、新聞広告などによる広報を行った。

令和元年度 佐久市川村吾蔵記念館事業計画（案）

1 川村吾蔵記念館設置目的および事業項目

佐久市川村吾蔵記念館は、川村吾蔵の業績を顕彰し後世に伝えると共に、美術に関する市民の知識および教養の向上を図り、創造的活動への参画を通じたさまざまな交流の機会を創出し、もって心豊かな市民生活および活力ある社会の形成に寄与するために設置された。

この設置目的に沿い、以下の事業を行う。

- (1) 川村吾蔵の制作した美術作品および関連資料・情報を収集し、その調査研究を行い、成果を公開し、川村吾蔵の顕彰と理解を促進する。
- (2) 美術（特に彫刻）に関する情報および資料の収集、調査研究を行い、その成果に基づき、美術に対する市民の関心と理解を深めるための展覧会、講演会、ワークショップなどを開催する。
- (3) 美術その他の芸術に関する創造的活動の機会を創出し、創造的活動をする市民に対する支援をする。
- (4) 収蔵する美術作品、関連資料および施設設備を適切に管理・整備する。

2 主要な事業について

(1) 川村吾蔵関係の調査研究および収集

- ア 情報の精査
- イ 関係資料等の収集

(2) 川村吾蔵作品および資料等の公開

- ア 小展示室において年譜と資料、大展示室において作品を展示公開する。本年度は6月28日に展示替えを行う予定で、展示してある作品33点の内、3点を入れ替え、5点を配置換えする予定である。
- イ 来館者に対して、展示内容と吾蔵についての解説をする。

(3) 教育普及イベントの実施（別紙予定表参照）

- ア 企画展等の開催
 - (ア) 「郷土の作家展」として、佐久市内在住の芸術家の作品を展示する企画展を夏・春の2回開催する。
 - (イ) ワークショップとして、「ステンドグラスでの作品作り」、「彫塑作品作り」、「粘土で牛の玩具作り」、「折り紙で牛作り」、「押し花で葉、団扇作り」、「ハーバリウム」、「アロマワックスバー」作りなどを行う。

(ウ) 市内児童生徒の造形作品を展示する。
保育（幼稚）園児の作品、佐久平総合技術高校臼田キャンパス創造実践科生徒の作品を展示する。

イ さくぶん連携企画

近代美術館と連携して次の事業を行う。

(ア) 小学生親子を対象に雛人形を製作し、その作品を展示する。

(イ) 展示は吾蔵記念館及び近代美術館で行う。

(4) 各記念日の無料開放

ア 8月17日の吾蔵誕生日を記念して、企画展に合わせた8月17日～18日に生誕記念無料開放を実施する。

イ 佐久市民の日記念無料開放を実施する。

3月7日～8日を予定している。

ウ 3月30日の吾蔵記念館開館を記念し、企画展に合わせ3月22日に無料開放を実施する。

(5) 収蔵作品および資料の保存

作品および資料について、適切に保存していくための状態調査及び保存環境の整備を行い、修復が必要なものについての処理法等検討する。

(6) 広報・広告等

企画展及びワークショップを開催する際は、幅広く広報を行って周知し、多くの参加者を募る。

3 その他

(1) 館内の清掃消毒管理

館内の清掃に合わせ展示替えを行う。2年ごとに館内燻蒸消毒を行う。

(今年度は燻蒸消毒の予定はない)

(2) 吾蔵作品の貸し出しについて

最近、他の博物館等から吾蔵の作品を借りたいとの依頼がある。

今後、依頼があった場合は、基本的には応じたいと考えている。

(3) 友の会の活用

友の会は川村吾蔵の顕彰を目的に美術に関心を持つ人々の集まりであり、会員の教養・親睦を深めるとともに、記念館の活動に協力することを目的としているので会員の皆さんの協力を得ていきたい。